

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	内部研修は毎月行われているが、外部研修への参加が少ない状態。	個々の職員の状況にあった外部研修に参加することができる。	年間を通して、主にグループホーム協議会からの研修に随時参加してもらう。また、医療関係や権利擁護など、専門的な分野も積極的に外部研修を利用して知識を深める。	12ヶ月
2	35	重度化・終末期ケアの方針を掲げているが、職員間での共有が不足している。	重度化・終末期ケアの方針について、職員間で共有できる機会を持つことができる。	毎月行われている勉強会を利用して、定期的に重度化・終末期ケアの方針について、全職員に説明・確認していく。	12ヶ月
3	37	非常用備蓄品が不足している。	非常災害マニュアルに沿って、必要量の非常用備蓄品を準備し、管理できる。	非常災害マニュアルに沿って、非常用備蓄品をそろえていく。使用期限・賞味期限を表などに一覧にして管理する。備蓄品の保管場所を職員間でも周知する。	4ヶ月